

## 第2期高知県教育振興基本計画の第3次改訂に当たって

平成27年度末に策定された「教育等の振興に関する施策の大綱」と、その教育大綱に具体的な事業の実施計画等を肉付けした「第2期高知県教育振興基本計画」がスタートして3年が経ちました。この教育大綱と第2期基本計画については、毎年度、PDCAサイクルによる進捗状況のチェックを行うとともに、国の教育改革の動向等も勘案して見直しを行うこととしており、今回は3回目の改訂となります。

教育大綱と第2期基本計画においては、本県における教育上の諸課題の抜本的な解決に向けて、チーム学校の構築、厳しい環境にある子どもたちへの支援、学校と地域との連携・協働などを取組の方向性として掲げ、これらに沿って様々な施策を実施してまいりました。また、年4回開催する総合教育会議において、施策の進捗管理の徹底を図り効果の確認を行ってまいりました。

その結果、まず知の分野では、中学校での「教科のタテ持ち」や高等学校での学校支援チームによる訪問指導など、教員同士が学び合い組織的に授業力を高める仕組みを導入することなどにより、小学生の学力は引き続き全国上位層に位置し、中学生も全国平均との差が縮まってきており、また、高校生も基礎的な学力が定着していない生徒の割合が減少するなど、取組の成果が表れてきているものと受け止めております。

また、徳の分野では、いじめや不登校などの課題に対し、各学校に校内支援会が設置され、組織的な情報共有と個々に応じた対応がなされるようになってまいりました。体の分野においても、子どもたちの体力は男女ともに向上し、特に中学校男子は全国平均を上回るなど改善が進んでおります。

このように、全体を見れば知、徳、体のそれぞれの分野において、教育大綱と第2期基本計画に定める基本目標の達成に向けた取組が進んでまいりました。一方で、小中学生の学力においても、市町村によってはまだまだ改善が十分でない状況があること、不登校やいじめなどの課題も依然として厳しい状況にあること、さらには、教員の働き方改革や中山間地域の高等学校の魅力化と特色ある学校づくりが求められていることなど、対応すべき課題もまだ多くあります。このため、今回の改訂では、チーム学校の取組の徹底、厳しい環境にある子どもたちへの支援の一層の強化、就学前教育の充実、県立高等学校再編振興計画の推進を中心に、取組を強化することとしております。

基本目標の達成に向け、県内の教育関係者の皆様と連携・協働させていただきながら、最終年度を迎える教育大綱と第2期基本計画の推進に取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

平成31年3月 高知県教育委員会